

様式第4号

市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

件名	第二次山陽小野田市水道事業等総合計画基本計画（案）	
意見募集期間	平成30年7月15日（日）～平成30年8月15日（水）	
公表した資料	第二次山陽小野田市水道事業等総合計画基本計画（案）	
意見の件数	1名	18件

意見の概要と市の考え方等

項目	意見の概要	水道局の考え方又は対応
基本計画について	表紙：「第二次山陽小野田市水道事業等総合計画基本計画書」となっているが、「基本計画」がどの部分か不明である。基本計画は4年ごとに改定するようになっているが、H33年度の目標や施策がない。	<p>本計画は、市総合計画基本計画の下位計画となるものであり、その目標を達成するために、水道局が定める計画です。</p> <p>計画期間（平成30年～41年）の目標や基本的な施策を表した「基本計画」、目標達成のために具体的な事業を定めた「実施計画」、事業を実施するために必要な財源を確保するための「財政計画」で構成されます。</p> <p>また、前期基本計画4年間の目標は指標に追加します。</p>
	p3：説明では、「基本計画は「現状と課題」を明らかにしながら「目標」・「施策」へと具体的な方向性を定めたもので、・・・」とあるが、今回の（案）では「基本計画（4年間）」の目標・施策がない。（上記1との絡み）	
	p1、1行目：「第二次総合計画の策定にあたって」とあるが、市の第二次総合計画	

	<p>があるので、この部分は「第二次水道事業等総合計画の策定にあたって」の方が解りやすい。あるいは、注釈でも入れるべき。</p>	
	<p>p 2、1 行目：上記 3 と同様</p>	
<p>財政計画、実施計画について</p>	<p>p 3:説明では、「基本計画」の配下に「実施計画」及び「財政計画」が位置づけられている。しかし、このページの図では、「基本計画」と「財政計画」が同じ位置づけで、その配下に「実施計画」があるように見受けられる。関係を明確にすべきである。</p>	<p>「基本計画」の下に「財政計画」「実施計画」があるように図を改め、財政計画についても毎年の見直しを行います。</p>
	<p>p 3、図:「財政計画」が「基本計画」の配下にあるのであれば毎年の見直しが必要ではないのか。</p>	
	<p>p 3:「財政計画」及び「実施計画」はいつ作成するのか。</p>	<p>「財政計画」及び「実施計画」についても現在策定中です。</p>
<p>経営について</p>	<p>p 16、3-4、13 行:「・・・、施設の老朽化と引き換えに、減価償却費が過少に算出された結果といえます。」とあるが、もう少し詳しく説明する必要がある。</p>	<p>P16 3-4 経営については、わかりやすい表現に改めます。</p>
	<p>p 16、3-4、最下行～p 17:「このような状況……。・・・公平性にも着目した内容とすることを目指す必要があります。」とあるが、もっと詳しい説明が必要。当該「基本計画」に盛り込むべきである。</p>	

カビ臭物質について	<p>p 31、表 2 項目目：「1105」の指標の説。で、「給水栓水にカビ臭物質が含まれる割合」とあるが、「含まれない割合」ではないか。今のままでは、H41 には 100%カビ臭物質が含まれることになる。</p>	<p>「給水栓水にカビ臭物質が含まれない割合」に訂正します。 カビ臭物質の発生、除去に関する記述を追加します。</p>
	<p>p 31、表 2 項目目：「カビ臭物質」どこから混入しているのか。これをどのようにして皆無にするのか。</p>	
語句の標記、グラフ等の説明について	<p>p 31、表：「指標 (PI) 項目」等の表がこのページ以降出てくるが、説明するべきである。p 45 の「水道事業ガイドライン業務指標」との関係。</p>	<p>「P45 に解説あり」と注釈を記載します。</p>
	<p>p 33、図表：このグラフの説明が必要である。何が言いたいのか。このページの文言にはこのグラフの説明がない。</p>	<p>グラフの説明文を記載します。</p>
	<p>表紙裏：用語解説の部分に、(文章中の※印について解説しています。) とあるが、本文中には該当語句が最初に出てきたときのみ※印がついてある。該当語句にはすべて※印をつけるべき。皆がいつも最初から読むとは限らないから。</p>	<p>該当語句にはすべて※印をつけるように改めます。</p>
	<p>p 6: 黄色枠 (2 箇所) に「容量合計 (m³)」とあるが、「有効貯水容量合計 (m³)」の方がよい。</p>	<p>「有効貯水容量合計」に改めます。</p>
	<p>p 10、3-3-1、2 行目：「お客様」とあるが「市民」の方が良い。p 1 の図「新水道ビジョンにおける水道の理想像 (国)」では、「すべての「国</p>	<p>「お客様」を「市民」に改めます。</p>

	民」 となっている。	
	p 21、1 行目：「お客様サービス」とあるが、「市民サービス」の方が良い。上記 9 との関係。	
	p 39:PDCA サイクル中の「A」は“Action” と表現されているが、シューハートやデミングらが提唱した PDCA サイクルは「Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善)」である。これに従えば、「A」は「Act」にすべきである。	「Action」を「Act」に改めます。

※項目ごとに整理して記載